



平成23年9月21日

各 位

上場会社名 近畿日本鉄道株式会社
 代表者名 取締役社長 小林 哲也
 (コード番号 9041、東証・大証・名証各1部)
 問合せ先 経理部長 泉川 邦充
 (TEL. 06-6775-3465)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年5月12日の決算発表時に公表した平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成24年3月期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	440,000	14,000	6,000	3,000	1.76
今 回 修 正 予 想 (B)	440,000	15,000	7,500	△3,000	△1.76
増 減 額 (B－A)	0	1,000	1,500	△6,000	—
増 減 率 (%)	0.0	7.1	25.0	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	454,458	15,119	7,713	6,391	3.76

(2) 平成24年3月期通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	940,000	38,000	23,000	14,000	8.22
今 回 修 正 予 想 (B)	945,000	39,000	25,000	7,500	4.40
増 減 額 (B－A)	5,000	1,000	2,000	△6,500	—
増 減 率 (%)	0.5	2.6	8.7	△46.4	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	960,006	39,919	25,249	14,354	8.43

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成24年3月期第2四半期累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 た り 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	130,000	7,000	5,000	2.93
今 回 修 正 予 想 (B)	131,000	9,500	5,500	3.22
増 減 額 (B－A)	1,000	2,500	500	—
増 減 率 (%)	0.8	35.7	10.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	131,463	9,161	5,709	3.35

(2) 平成24年3月期通期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	264,000	15,000	10,000	5.86
今 回 修 正 予 想 (B)	265,000	18,000	11,000	6.44
増 減 額 (B－A)	1,000	3,000	1,000	—
増 減 率 (%)	0.4	20.0	10.0	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	268,628	17,580	11,564	6.78

3. 修正の理由

売上高は、鉄道部門、ホテル部門において、本年3月に発生した東日本大震災発生による減収額が想定を下回るほか、旅行部門が好調に推移していることから、通期では50億円増加する見込みであります。なお、第2四半期連結累計期間は、不動産販売部門においてマンション販売が下半期にずれ込むため、据え置いております。利益面においても、震災による減収額の減少や支払利息の軽減等により、営業利益は第2四半期連結累計期間、通期とも10億円、経常利益は第2四半期連結累計期間は15億円、通期は20億円それぞれ増加する見込みであります。

本日、当社の連結子会社である㈱近鉄百貨店は経営構造改革の実施を決議し、これに伴い減損損失等を特別損失に計上する見込みとなったことから、業績予想の修正を公表しております。同社の業績修正に伴い、第2四半期連結累計期間の四半期純損益は損失計上となり、通期の当期純利益は65億円減少する見込みであります。

なお、個別業績につきましては、第2四半期累計期間は、売上高は10億円、経常利益は25億円、四半期純利益は5億円それぞれ増加しており、通期についても、売上高は10億円、経常利益は30億円、当期純利益は10億円それぞれ増加する見込みであります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上